

平成 22 年度事業計画

■ 寄付行為より

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (ア) 日本の伝統文化及び現代芸術の分野における優秀な新人及び文化・芸術の研究者に対する助成。
- (イ) 日本の伝統文化及び現代芸術を展示、公演する文化芸術祭の開催。
- (ウ) 日本の伝統文化及び現代芸術の分野で著しい貢献をした者に対する顕彰。
- (エ) 芸術系大学等に在学する学生に対する奨学金の給付または貸与。
- (オ) 文化・芸術の交流を通じて国際社会の相互理解を促進する事業。
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

実施予定事業概要

(1) 育英事業(寄付行為第4条(4))	予算	1,930,000円
(2) 助成顕彰事業(寄付行為第4条(1)(3)(5))	予算	5,000,000円
(3) 文化芸術普及活動事業(寄付行為第4条(2)(6))	予算	4,500,000円
(ア) 「創造する伝統 音楽のきずな DVD 化」		500,000円
(イ) 「創造する伝統 杜の中の文化祭」		2,500,000円
(ウ) 自治体等の伝統文化実施団体への一流演奏家による特別指導事業		1,500,000円
(4) 管理費		
公益財団法人への移行後経費を含む	予算	6,150,000円
(5) 総支出		
総支出		17,580,000円
内訳	事業費	11,430,000円
	管理費	6,150,000円

■ 育英事業(第15回)(寄付行為第4条(4)) 【予算 1,930,000円】

(1) 給付人数及び金額

- 大学生 2名 奨学金 1年間30万円の給付
- 大学院生 2名 奨学金 1年間50万円の給付

(2) 対象

国内の芸術系大学の3回生・4回生または大学院に在学し、絵画・彫刻・工芸・建築(造園を含む)・デザイン(グラフィックデザイン及び工業デザインのみ)の実技部門を専門としている学生

(3) 募集方法

- 芸術系(実技部門のみ)の大学を対象に公募(送付先再調査予定)
- 応募方法 書類による応募

(4) 応募受付期間

平成22年5月初旬から平成22年5月中旬(当日消印有効)

(5) 選考方法

書類選考:応募書類を基に、当財団の奨学生選考委員会で審議、多数決にて選考

(6) 受給者の決定と給付方法

- 理事会で審議し決定
- 決定通知後、本人の口座に、7月と10月の2回に分割して支給

■助成顕彰事業(第17回)(寄付行為第4条(1)(3)(5))

【予算 5,000,000 円】

- (1) 賞 賞金 総額300万円
創造する伝統大賞 @200 万円(該当者がある場合のみ)
創造する伝統賞 @100 万円

(2) 対象

日本の伝統文化および現代藝術の分野で、それぞれ下記に該当する者。
国籍に関わらず日本国内で活動し、下記に該当する者も対象とします。

- ① 伝統文化の諸分野において、維持／伝承、創作／普及または公演活動を行なう実技者で、将来にわたり活動が更に期待される者。
② 現代藝術の諸分野において、創作／普及または公演活動を行なう実技者で、現代藝術の新たな発展に資する活動を行なっており、将来にわたり活動が更に期待される者。

(3) 募集方法

公募のほか推薦委員より候補者を列挙

(4) 選考方法

選考委員会を開催し、候補者より選出後、理事会で決定

(5) 結果発表

平成22年年 2 月下旬に発表。同年 3 月下旬に授賞式典を実施。

■文化芸術普及活動事業(寄付行為第4条(2)(6))

◆「創造する伝統 音楽のきずな DVD 化」 【予算 500,000 円】

小島美子国立歴史民俗博物館名誉教授の企画・監修で 10 回開催した、「音楽のきずな」の記録をもとに、小島教授監修のもと DVD にまとめる。まとめた DVD の映像と音が公益に役立つようであれば、次年度は、小島教授に解説等を加えていただき、公布できるかどうか検討する。

◆「創造する伝統 杜の中の文化祭」 【予算 2,500,000 円】

自然と調和した日本独自の文化の、極み、美、楽しみを老若男女一緒に、またはそれぞれが感動をもって体験できる催し。杜のうつろいの中で、衣食住、遊びから達人の芸までを展開する。

主 催 : 財団法人 日本文化藝術財団

助 成 : 全日本社会貢献団体機構(申請中)

特別協力 : 明治神宮

後 援 : 京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

- 【杜のコンサート】(邦楽公演) ホールコンサート(10月)、和室公演(5,8,2月)
* 邦楽演奏家と財団が、現代に適した演出・楽曲を模索し、協同で企画開催する。
出演予定 今藤長十郎(四世家元)、新内剛士、常磐津一巴太夫(人間国宝)、林英哲(助成顕彰事業授賞者)、宮田まゆみ(助成顕彰事業授賞者)など
- 【杜の体験・ワークショップ】(親子を対象)夏休みイベント(8月)、ワークショップ(5,10,2月)

* 四季の杜を巡り、親子一緒に伝統文化に親しむ

講師予定 伊達晟聴(聞香)、三輪宗文(茶道)、小川後楽(煎茶道)、小沢直平(剪画)、NPO 法人響(杜の探検)他

● 【杜の映画会】 夏休みイベント(8月)

* 自然の心と創造をテーマにした芸術性の高いアニメーションの上映
協力:スタジオジブリ

● 【ブログ「四季おりおり」】 毎月1・15日更新

* インターネット発信による四季・歴史・文化の再発見を通して「よりよく生きる心」を探求する。

* ブログの記事を冊子化し、広く配布。

◆ 自治体等の伝統文化団体への一流演奏家による特別指導事業 【予算 1,500,000 円】

地方で運営されている邦楽演奏団体に、プロの一流演奏家を派遣し特別指導を行う。すでに邦楽を演奏したことのある若者(小中高校生)を対象に、プロの指導によって、演奏技術の向上、邦楽(伝統芸能)への興味を更に深める機会を提供する。一流の演奏家が直接、演奏技術、演奏に関する問題の解決、古典曲や新しい曲への挑戦を指導する。

主 催 : 財団法人 日本文化藝術財団

助 成 : 日本財団(申請中)

後 援 : 京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

対 象 :

・各地域において祭りなどを中心に演奏活動を行っている祭囃子保存会や邦楽
器演奏の同好会

・小中学校で、邦楽器を演奏しているクラブ

その他

募集方法:

初年度はこれまでの普及活動で知り得た関連団体に呼びかけ、情報を収集し特別指導を実施する団体を決定する。

関連団体:(財)伝統文化活性化国民協会、邦楽ジャーナル、宮本卯の助商店、浅野太鼓、当財団主催イベントに出演した団体・出演者

講師予定

・ 一噌幸弘(能楽師 笛方)

・ 今藤長十郎(長唄三味線演奏家/今藤流家元)

・ 赤尾三千子(横笛演奏家/助成顕彰事業授賞者)

・ 宮田まゆみ(笙演奏家/助成顕彰事業授賞者)

・ 林英哲(和太鼓奏者/助成顕彰事業授賞者)

・ 吉村七重(箏演奏家/助成顕彰事業授賞者)

・ 佐藤通弘(津軽三味線演奏家)

・ 若山胤雄社中(江戸里神楽/助成顕彰事業授賞者)